

人にも環境にもやさしいチーク物語

昔、マホガニー物語という映画ダイアナ・ロスが出ていた映画がありましたね。

たしか、テーマ曲がコーヒーのCMにつかわれたのかな。今回この二大銘木（チークとマホガニー）といわれるチークのおはなしです。

チークは熱帯雨林地帯、インドネシア、タイ、ミャンマーなどが産出国ですが材質は堅く、反りや縮みといった狂いがすくない。それでいて加工しやすく、無塗装でも表面はワックスを塗ったような自然な光沢があります。

インドネシアでは子供が生まれると、チークの木を庭に植えるらしいです。

これが子供が成人し、嫁ぐときにこの樹で家具を造るということなのです。

熱帯の暑い日ざしを浴び、雨風にさらされ子供とともに成長を見守ったチークが、子供が家具とともに嫁いでいってしまうということなのです。

私も子供も持つ身ですので親から子に、伝えたいものをチークの家具がかかわっていくという、心温まる思いが・・・・・・・・

南の島の恵みを丹精こめ完成させた、至福のやすらぎはあなただけのもの

チークオイルは、塗装膜を作らず材に浸透し材料を一層強くし、深みのある高級感を醸し出します。そしてなにより**植物性の安全な塗料**であることです。



チークの質感と真鍮の品格

座面は座ぐりのなだらかな傾斜がつけてあり、背もたれは、腰部分によりフィットするようにアールがつけられています。